

あとから来る者のために
坂村 真民

あとから来る者のために
田畑を耕し
種を用意しておくのだ
山を
川を
海を
きれいにしておくのだ
ああ
あとから来る者のために
苦勞をし
我慢をし
みなそれぞれの力を傾けるのだ
あとからあとから続いてくる
あの可愛い者たちのために
みなそれぞれ自分にできる
なにかをしてゆくののだ

EM発祥の地で常に最先端技術を研究開発 人々の幸せを目指す沖縄県

取材／大山

沖縄県は、琉球大学名誉教授比嘉照夫（U-net 理事長）農学博士が生まれ育ち居を構える研究開発の拠点であり、EM（有用微生物群）の最新技術を全世界に発信し続けている日本最南端の県である。比嘉博士が琉球大学教授の時にEMを開発し35年余りになる。これを活用したEM技術は、今や農業・漁業・環境・資源・医療等にも範囲を広げ、全世界150を超える国・地域で使用されている。タイ・エジプト・ブータンなどのように国を挙げて取り入れている国も増えてきた。

今号ではEM発祥の地で最先端のEM技術を研究開発し人々の幸せを目指す沖縄県のEMホテルである「コスタビスタ」、EM研究機構の直営農場「サンシャインファーム」それに比嘉博士のプライベートな実験農場でもある「青空宮殿」でのEM活用例をご紹介します。



EM研究機構の直営農場
サンシャインファーム



コスタビスタ客室から東シナ海を望む



青空宮殿を訪れた神奈川県「GX湘南」の皆さんと比嘉博士

眺望・食事・空気感が素晴らしく人気トップクラス

EMウエルネスリゾート「コスタビスタ沖縄」

約48年前に建設された米系ホテルを15年前にEM研究機構が取得し、EM技術で改修したのがEMウエルネスリゾート「コスタビスタ沖縄」であり、ホテルとスパを運営している。沖縄県北中城村の丘の上に建ち、最高の眺望を与えてくれている。ホテルの西には東シナ海、東には太平洋が見えるという絶景地点だ。

特長は、改修時に徹底してEMを使用したのも、空気

感が素晴らしく癒しの空間が出来上がっている。現在、ホテル内の清掃は汚れや臭い取りにEM発酵液を使い、パジャマやシーツなどリネン類はEMクリーニングを徹底しているので肌に優しい柔らかな着心地が嬉しい。また、食事は肉も野菜もEM食材であり、ジュース・牛乳・酒類までもすべてにEMが活用されていて安心安全で美味しく健康になれるもの。特に朝食のバイキングでは、サンシャインファーム直送の新鮮野菜や健康卵が美味しく食べ放題であり朝一番のお勧めである。

ここ数年、修学旅行で宿泊する高校生を対象に実施されているのが「E M環境学習」で、ホテルと農場との循環型エコサイクルの授業が好評だ。

またホテル併設のスパ「コラソン沖縄」では、E Mセラミクスを使用した大浴場・サウナ・岩盤浴があり、女性に大好評オイルトリートメントなど美容術もある。更に腰や膝などで悩みの方には評判の柔道整復師が治療するコラソン治療院もある。このホテルにはリピーターが多いが、何が良いのかお聞きすると、「やはり空気感が違う」という、E Mが心身で理解されているのだと確信した。



レストランの朝食に供され大好評のE M野菜



スパ「コラソン沖縄」の大浴場



スパ「コラソン沖縄」の岩盤浴

ホテルの食品残渣をエコサイクルし

健康な野菜や卵を生産

サンシャインファーム

コストバスタと同じ北中城村にあり、ホテルから車で10分ほどの陽当たりの良い谷間にサンシャインファームはある。当然だが、この農場ではE M技術の活用だけで農薬・除草剤・化学肥料など一切使っていない。畑の他に大きなハウスや鶏舎などもあり、実験農場も兼ねていることからE M整流・結界はハウス内や畑にひもが巡らされている。ここでの栽培方法の特長は、コストバスタのホテル厨房から出た食品残渣をE Mで1か月ほど発酵させた堆肥を主に野菜栽培に使っていること。また、鶏舎には常時1,000羽ほど飼育されていて、卵は1日約800個生産している。この鶏にもホテルからの食品残渣をE M発酵させ自社栽培の野菜などに混ぜて飼料として与えている。これらの野菜や卵はコストバスタの食材に循環し、利用者皆さんの食楽と健康増進に役立っている。現在、生産が軌道



鶏舎で平飼いされE M飼料を与えられ元気な鶏たち



ホテルからの食品残渣をE M発酵させ飼料に

に乗り要望に応えられるようになってきたので、コストバスタの他近くのイオン、コープ、給食センター、村内のカフェなどにも出荷し喜ばれている。

サンシャインファームとコストバスタで行われ

ている循環型エコサイクルは今後の世界にとってあるべき姿で、日本全国ばかりか世界にも発信できる素晴らしいモデルとして普及させる使命もあるのではないだろうか。

元駐車場の荒地を

一人で楽にできる不耕起連続栽培農場に

実験農場「青空宮殿」

住宅地の真ん中に比嘉博士が最新のE M農法開発と自身の楽しみにプライベートな実験農場「青空宮殿」がある。日本全国、時に海外からも呼ばれ超多忙な比嘉博士が、飛行機に乗る前の一時でも革靴・背広姿で好きな畑仕事ができるようにと、畑の通路に古い絨毯を敷き詰め豪華に見せた畑を自ら名付けたのだそう。



元駐車場の荒地を栽培適地にするため塩をまく比嘉博士(緑色のシャツ)

我々が訪問した10月中旬の日は、抜けるような真っ青な空が大きく広がっていたので、青空の下で素晴らしい宮殿とでも言えるような内容の畑を青空宮殿と呼んでも良いとも思えた。この青空宮殿の畑は元駐車場の荒地で地面は石混じりで一般的には野菜栽培にはとても適しているようには思えない。この地面に炭と塩とE Mを入れて、不耕起で除草もしないで楽に野菜が連続して栽培できるようにと考えての実験農場で、夢のような栽培方法だ。9月末に沖縄を襲った台風24号で、他のバナナ園は茎ごと倒されて全滅状態だったというが、この宮殿のバナナはE M整流・結界のおかげで葉は飛ばされたが茎は立っていた。そのうち葉が出るので回復は早いだろう。改めてE M整流・結界の凄さを再認識した。

※善循環の集いin沖縄は12月15日(土) 12:30～、北中城村のイオンモール沖縄ライカム3Fイオンホールで開催。入場無料



整流・結界が施されたハウス内で栽培されるトマトと小松菜



栽培されているバナナの房を切って訪問者にプレゼント

第9回「海の日」 全国一斉 EM団子・EM活性液投入集計 [最終結果]

(都道府県名 団体数 / 参加人数 / ● EM 団子投入個数 / ■ EM 活性液投入量)

①北海道	4 団体 / 54 人 / ● 1,238 個 / ■ 1,023 ℓ
②岩手	4 団体 / 70 人 / ● 2,028 個 / ■ 1,250 ℓ
③宮城	6 団体 / 185 人 / ● 8,480 個 / ■ 8,830 ℓ
④山形	3 団体 / 66 人 / ● 2,000 個 / ■ 2,420 ℓ
⑤福島	6 団体 / 632 人 / ● 12,500 個 / ■ 7,745 ℓ
⑥茨城	7 団体 / 238 人 / ● 9,985 個 / ■ 25,375 ℓ
⑦栃木	2 団体 / 80 人 / ● 900 個 / ■ 150 ℓ
⑧埼玉	1 団体 / 10 人 / ● 200 個 / ■ 2,000 ℓ
⑨千葉	7 団体 / 685 人 / ● 10,400 個 / ■ 44,215 ℓ
⑩東京	4 団体 / 283 人 / ● 34,800 個 / ■ 134,000 ℓ
⑪神奈川	5 団体 / 244 人 / ● 10,700 個 / ■ 7,492 ℓ
⑫新潟	3 団体 / 114 人 / ● 1,700 個 / ■ 2,550 ℓ
⑬石川	1 団体 / 75 人 / ● 1,000 個
⑭山梨	5 団体 / 116 人 / ● 4,385 個 / ■ 5,300 ℓ
⑮長野	1 団体 / 2 人 / ● 500 個 / ■ 500 ℓ
⑯岐阜	1 団体 / 6 人 / ■ 250 ℓ
⑰静岡	2 団体 / 90 人 / ● 2,770 個 / ■ 1,460 ℓ
⑱愛知	18 団体 / 4,058 人 / ● 16,404 個 / ■ 74,600 ℓ
⑲三重	10 団体 / 241 人 / ● 23,700 個 / ■ 16,484 ℓ
⑳滋賀	1 団体 / 80 人 / ● 683 個 / ■ 6,000 ℓ
㉑京都	3 団体 / 18 人 / ● 4,100 個 / ■ 7,200 ℓ
㉒大阪	6 団体 / 316 人 / ● 11,800 個 / ■ 1,820 ℓ
㉓兵庫	7 団体 / 650 人 / ● 4,500 個 / ■ 2,500 ℓ
㉔奈良	1 団体 / 200 人 / ● 1,900 個 / ■ 1,000 ℓ
㉕島根	5 団体 / 1,762 人 / ● 35,700 個 / ■ 118,351 ℓ
㉖岡山	4 団体 / 98 人 / ● 35,900 個 / ■ 144,000 ℓ
㉗広島	1 団体 / 37 人 / ■ 500 ℓ
㉘山口	1 団体 / 6 人 / ● 500 個 / ■ 250 ℓ
㉙徳島	20 団体 / 430 人 / ● 1,400 個 / ■ 8,800 ℓ
㉚香川	2 団体 / 24 人 / ■ 310 ℓ
㉛愛媛	1 団体 / 150 人 / ● 500 個 / ■ 200 ℓ
㉜高知	2 団体 / 36 人 / ● 2,000 個 / ■ 410 ℓ
㉝福岡	3 団体 / 96 人 / ● 5,050 個 / ■ 36,380 ℓ
㉞佐賀	3 団体 / 50 人 / ● 1,850 個
㉟長崎	1 団体 / 200 人 / ● 3,000 個 / ■ 300 ℓ
㊱熊本	3 団体 / 250 人 / ● 1,600 個 / ■ 13,230 ℓ
㊲大分	3 団体 / 108 人 / ● 1,500 個 / ■ 195 ℓ
㊳宮崎	5 団体 / 303 人 / ● 4,589 個 / ■ 627 ℓ
㊴鹿児島	6 団体 / 448 人 / ● 11,987 個 / ■ 9,470 ℓ
㊵沖縄	1 団体 / 10 人 / ● 1,000 個

集計の数字は、報告のあった団体のみ掲載しています

今年度合計			
団体数(団体)	総人数(人)	団子(個)	活性液(ℓ)
169	12,521	273,249	687,187



宮城 U-net みやぎ



福島 つきだてエコ暮楽部



茨城 光風荘



茨城 NPO 緑の会



栃木 足利水土里探偵団



愛知 夏の堀川浄化大作戦



石川 S P C 北陸



大阪 S P C 関西



三重 四日市港



島根 出雲市須佐コミュニ
ティセンター



愛媛 えひめEM普及協会



熊本 天草の海を珊瑚の海に
五和町御領地区振興会

第8回東日本大震災復興支援環境フォーラム 「うつくしまEMパラダイス」

国際恒温核融合学会が認めたEMによる放射性物質の完全な抑制効果

取材／長谷部

EMは有機物と一緒に使用することと継続することが効果を上げる

秋空の心地よい天候の中、10月12日(金)郡山市立中央公民館にて第8回東日本大震災復興支援環境フォーラム「うつくしまEMパラダイス」が開催された。会場は玄関入ってすぐにEMマルシェとしてEMによる重力子(グラビトン)技術を用いた事例紹介ブースやEM栽培の野菜販売と食事ブースが出展されていた。来場者皆さん楽しく美味しくEMマルシェを満喫していた。

研究発表・講演会はベラルーシ国立放射線生物学研究所(以下IRB)による研究成果報告、医学博士 田中佳先生による「貴方の知らない現代医学と治癒力向上生活」の講演、福島県・栃木県の各活動発表、比嘉照夫先生による特別講演会の順に行われた。

IRBの発表では、EM及びEMボカシは家畜の免疫力を高め成育を促進し、また、土壌にある放射性物質の農作物への移行抑制する研究報告とともに農産物の品質向上、土壌改善及び費用対効果としても利益があると報告を行った。IRBより2018年にロシア語版と英語版で『畜舎における臭気汚染抑制のための生物学的手段』というタイトルで出版予定である。



EMマルシェ EM栽培野菜の販売



EMマルシェ EM重力子技術説明

放射能 正しく怖れて 有効活用

各地域の活動発表において、自家でEM栽培している牧草がついに放射性セシウム濃度不検出となる結果がでたこと、また、EM栽培農作物の放射性物質低減のみでなく、EM栽培以外でも重力子の影響から放射性物質の低減効果が見られた発表があった。

また、EM普及活動発表では、地域公民館を活用し家庭菜園用のボカシ作り、地域文化祭でEM石鹸の販売、生ごみ堆肥の講習会、ストレッチ体操などの事例も紹介。その他にもEMが放射性物質を正しいエネルギーに転換してくれることに対し、活動発表を通して説明され、EM活用する側における想念の管理がとても大切であることも伝えられた。



IRB 研究報告発表者

EM技術に大きな自信 比嘉先生が特別講演

比嘉先生の特別講演では、EMの放射性物質に対する効果が国際恒温核融合学会など世界的にもEMが認知されていることが説明された。また、福島県は国内でも一番多くEMを使っており、福島県全体がEM整流化され、EMを使用していない箇所でも同じ効果をもたらしている。

時系列でみた場合に放射能減衰率が期待以上の結果となっていることに対し自信をもって活動を継続していき、行政機関に対しこの事例をしっかり伝えてもらいたいと締めくくった。



医学博士 田中 佳先生



農学博士 比嘉 照夫先生

〔事例の詳細については、2018EM災害復興支援プロジェクト事例集を参照〕